

木暮亮 （おれ） 小説家、ドイツ文學翻譯家。明治二十九年七月一日福島縣生れ、昭和五十六年二月二十七日歿（二六共一八九一）。本名菅原高徳。大正十一年東京帝國大學文學部獨又科卒。明治大學、獨協大學各教授歴任。在學中同人誌『地上の子』、のち『意識』發刊、次で『作家精神』、『新文學』創刊主宰。『木暮亮作品集』全三卷（I・昭和四十四年四月二十日、II・四十五年一月二十日、III・四十六年一月十五日木暮亮作『集刊』行会）刊。

譯著書、フリイドリツヒフオンシユルニ作『犯罪者―附降神術者』（本名、譯、大正九年二月十八日越山堂『世界名著文庫』）、『皇國文學』（第一輯『傳統の研究』同、合著、昭和十五年十一月一日聖文閣）、『檻』（昭和十六年一月十五日赤門書房『赤門叢書』）、ホナムン作『スキエデリー嬢』（譯、昭和十六年十一月二十日白水社）、『少年提琴歌物語』（昭和十八年七月二十日富士書房）、『一茶茶物語』、『春』（昭和十九年一月二十日學藝社『學藝社文庫』）、『葡萄菊畑の家』（昭和二十一年十一月二十日御影文庫）、ホナムン作『砂男』（譯、昭和二十二年八月二十日青磁社『青磁社選書』。再刊、二十八年六月一日創世社『近代文庫』）等。